

専門修練医カリキュラム — 糖尿病・代謝内科コース —

概要

動脈硬化性疾患の危険因子となる糖尿病、高脂血症、肥満やこれらが集積したメタボリックシンドロームなどの代謝性疾患の病態を理解し、その診断法、治療法を習熟する。また、これら代謝性疾患の治療を通して、循環器疾患の一次予防、二次予防について研修を深める。さらに、種々の検査法（特殊化学検査法、運動負荷試験、インスリン分泌及び感受性試験をはじめとする負荷試験等）、運動療法および特殊治療（プラズマアフェレーシスなど）について、そのメカニズムについてまで習得する。代謝性疾患と循環器病疾患との関連に関する臨床研究や、代謝性疾患及び合併症である心血管病の病因、病態の解明を目的とした分子生物学的、分子遺伝的研究を行う。研修期間は2年間を原則としますが、1年間の研修も可能です。

専門医資格

糖尿病学会認定教育施設

日本アフェレーシス学会認定教育施設

主な検査・治療手技

	目標数
・ 頸部エコー	180
・ インスリン感受性試験	120
・ 血管内皮機能検査	100
・ LDL アフェレーシス	50

研修方法

1) 臨床

動脈硬化性疾患の冠危険因子の評価法と管理目標、検査法について、当センターの豊富な症例を解析し、新たな評価法、管理目標について検討する。糖尿病および家族性高脂血症を含む高脂血症の病態生理や疾患概念や疫学について、さらに深く理解し、病態に応じた治療法を修練する。肥満症、メタボリックシンドロームなどの代謝性疾患について循環器疾患における意義を解析し検討する。

多臓器動脈硬化症の特徴と危険因子との関連、早期動脈硬化診断である頸部・四肢超音波ドプラ法、内皮機能検査法、糖尿病微小血管障害評価法について解析し検討する。

2) 臨床研究

糖尿病、高脂血症、肥満及び合併症である心血管病の成因・病態に関して分子生物学的、分子遺伝的研究を行うとともに、代謝性疾患と循環器疾患との関連に関する研究を行う。

インスリン感受性試験や血管内皮機能検査、新規ホルモンとの関連を検討し、これらの因子と糖尿病の発症や、合併症発症との関連を明らかにする。

3) 患者受持

9階西、緊急病棟入院患者教育入院平均受持ち数名

4) 検査業務

代謝内科検査を少なくとも平均週1日(半日×2)担当する。

頸部エコー、インスリン感受性試験(SSPG法)、血管内皮機能検査

5) 当直業務

夜間または時間外の重症または緊急患者管理の修練を目的として、スタッフの指導のもとに月最低24時間一般内科当直業務を行う。

回診・カンファレンス等の週間スケジュール

曜日	時間	内容	
月曜日	午後	頸動脈エコー 代謝リハビリ(午前・午後隔週)	第二超音波室 リハ棟 4F
火曜日	午前 午後	LDL アフェレーシス 腎高・代謝合同カンファレンス	透析室 9Wカンファレンス室
水曜日		代謝リハビリ	リハ棟 4F
木曜日	午前	インスリン感受性テスト(SSPG) 血管内皮機能検査(FMD)	代謝機能検査室
金曜日	午後 午前	代謝内科回診 頸動脈エコー インスリン感受性テスト(SSPG) 血管内皮機能検査(FMD)	9Wカンファレンス室 第二超音波室 代謝機能検査室